

課題番号	個 09-001
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 7 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 新井 勉

印

所属・資格 法学部 教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	近代日本における国事犯概念と法的位置づけ			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
新井 勉	『日本法学』/「国事犯の概念と法的位置づけ」	76巻1号	平成22年6月	日本大学法学会

※ホームページ等での公開の 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
本研究のテーマたる「近代日本における国事犯概念と法的位置づけ」は、近現代日本の内乱罪研究の最初の項目であり、近現代日本の内乱罪史研究 (私の、および他の研究者の) に大いに貢献するだろうと考える。			
(その他)			

課題番号	個09-002
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年3月23日

日本大学 総長 殿

氏名 岩崎 正洋
 所属・資格 法学部・教授



下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。	
2 研究課題	民主化の第三の波における民主化支援の形態				
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)				
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
	岩崎 正洋	日本比較政治学会	民主化支援か民主主義支援か	平成22年6月	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
	岩崎 正洋	『政経研究』／民主化支援か民主主義支援か	47巻2	H.22.9	日本大学法学会

※ホームページ等での公開の 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個 09-004
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 27 年 3 月 5 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 工藤 聡一



所属・資格 法学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	EU排出権指令の域外航空運送事業者への適用上の問題																																				
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 																																				
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">発表者名</th> <th style="width: 25%;">学会名</th> <th style="width: 25%;">発表テーマ</th> <th style="width: 25%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																															
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																		
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 40%;">著書名・雑誌名/論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 20%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工藤聡一</td> <td>日本法学/航空由来カーボンの排出削減と国際社会</td> <td>80巻3号</td> <td>27年1月</td> <td>日本大学法学研究所</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	工藤聡一	日本法学/航空由来カーボンの排出削減と国際社会	80巻3号	27年1月	日本大学法学研究所																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																	
工藤聡一	日本法学/航空由来カーボンの排出削減と国際社会	80巻3号	27年1月	日本大学法学研究所																																	

※ホームページ等での公開の 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

【別紙様式 8】

課題番号	個09-005
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 25 年 1 月 29 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 武繩 卓雄

所属・資格 法学部・准教授



下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	産業連関分析による地域間生産格差の現状			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
武繩卓雄	政経研究	49-3	2013/1	日本大学法学会

※ホームページ等での公開の(○可・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			


課題番号	個09-006
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23年 4月 2日

日本大学 総長 殿

氏 名 _____ 館野 正生 
 所属・資格 _____ 准 教授 _____

下記のとおり提出いたします。

1	種目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注: 該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 法蔵華嚴思想に於ける縁起相由の研究	
3	研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します) ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)	
4	学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
5	著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名
	館野正生	『桜文論叢』/「法蔵華嚴思想に於ける縁起相由の研究(第二) — 『華嚴経旨帰』篇」
	卷・号	年月
	78巻	22年11月
	出版社・発行所	日本大学法学部

※ホームページ等での公開の (可) / (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個09-007
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23年4月13日

日本大学 総長 殿

氏 名 喜多 義人



所属・資格 法学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	日本における戦争犠牲者救護活動の展開に関する研究																																						
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究代表者 ・ 研究分担者 (役割分担) 																																						
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">発表者名</th> <th style="width: 20%;">学会名</th> <th style="width: 40%;">発表テーマ</th> <th style="width: 20%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>喜多 義人</td> <td>軍事史学会</td> <td>日露戦争における日本赤十字社の戦時救護事業</td> <td>H21. 6</td> </tr> <tr> <td>喜多 義人</td> <td>国史学会</td> <td>松山俘虜収容所における日本赤十字社救護班</td> <td>H22. 6</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	喜多 義人	軍事史学会	日露戦争における日本赤十字社の戦時救護事業	H21. 6	喜多 義人	国史学会	松山俘虜収容所における日本赤十字社救護班	H22. 6																							
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
喜多 義人	軍事史学会	日露戦争における日本赤十字社の戦時救護事業	H21. 6																																				
喜多 義人	国史学会	松山俘虜収容所における日本赤十字社救護班	H22. 6																																				
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 40%;">著書名・雑誌名／論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 20%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>喜多 義人</td> <td>『日本法学』 「北清事変と日本赤十字社の救護事業」</td> <td>76巻2号</td> <td>H22, 9</td> <td>日本大学法学会</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	喜多 義人	『日本法学』 「北清事変と日本赤十字社の救護事業」	76巻2号	H22, 9	日本大学法学会																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
喜多 義人	『日本法学』 「北清事変と日本赤十字社の救護事業」	76巻2号	H22, 9	日本大学法学会																																			

※ホームページ等での公開の 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

課題番号	個 09-008
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23年3月31日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 初見基



所属・資格 文理学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1	種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。		
2	研究課題	現代ドイツにおける歴史意識の規範化と対抗的記憶形成の考察			
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担） 			
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
	発表者名	学会名	発表テーマ		
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号		
			年月		
			出版社・発行所		
	初見基	リュンコイス／都市の記憶 — 〈パサージュ〉理解に向けて—	43	2010年3月10日	桜門ドイツ文学会
	初見基	ドイツ文学論集／追想の要請—〈後から生まれる者たち〉に課された規範—	31	2010年3月31日	日本大学文理学部ドイツ文学科研究室

※ホームページ等での公開の (可) ・ 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
平成 21 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C)			
研究課題名「現代ドイツにおける集会的記憶の形成と文学の機能」(課題番号 21520345)			
直接経費 1,300,000 円, 間接経費 390,000 円			
(他の研究への発展)			
(その他)			
本研究の一環としてその他次のような成果を挙げた。			
初見基: 記念の日々と文学—最近のドイツ文学から (DeLi 第 10 号, 4-13 頁, 2010 年 3 月 31 日)			
初見基: 書評: 平野嘉彦『死のミメーシス ベンヤミンとゲオルゲ・クライス』(週刊読書人 2843 号, 2010 年 6 月 18 日)			
初見基: ドイツ文学の現況と翻訳・研究 '09 (文藝年鑑 2010, 84-87 頁, 2010 年 6 月 25 日)			

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 3 月 31 日

日本大学 総長 殿

氏 名 中 森 広 道



所属・資格 文理学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	「緊急地震速報」の社会的機能と情報の適正化に関する調査研究																																						
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> ・ <input type="checkbox"/> 研究代表者 ・ 研究分担者（役割分担） 																																						
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中森広道</td> <td>日本災害情報学会</td> <td>「駿河湾の地震」における人的被害とその対策に関する考察</td> <td>平成 21 年 10 月</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	中森広道	日本災害情報学会	「駿河湾の地震」における人的被害とその対策に関する考察	平成 21 年 10 月																											
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
中森広道	日本災害情報学会	「駿河湾の地震」における人的被害とその対策に関する考察	平成 21 年 10 月																																				
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中森広道</td> <td>東京消防／「駿河湾の地震」と屋内被害</td> <td>12月号</td> <td>平成 21 年 12月</td> <td>東京消防協会</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	中森広道	東京消防／「駿河湾の地震」と屋内被害	12月号	平成 21 年 12月	東京消防協会																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
中森広道	東京消防／「駿河湾の地震」と屋内被害	12月号	平成 21 年 12月	東京消防協会																																			

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載（テレビ取材・講演を含む）			
発表／掲載者名	新聞名（朝刊・夕刊）	掲載年月日	
中森広道	NHKニュース7	平成21年8月29日	
中森広道	リアルタイム地震情報利用協議会	平成22年6月4日	
中森広道	気象庁 緊急地震速報講演会	平成22年11月21日	
その他（ビデオ、CD、シナリオ、写真、舞台等）			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果（下記のような成果があれば記入してください。）			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
^			
(その他)			

課題番号	個 09-011
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23年3月25日

日本大学 総長 殿

氏 名 小野 雅章



所属・資格 文理学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1	種目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。			
2	研究課題 近代日本の学校事件・事故に関する基礎的研究—基礎資料の調査・収集を中心に—				
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）				
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
	発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
	小野 雅章	日本教育史研究会	戦後象徴天皇制のなかの学校教育	2010年8月18日	
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
	小野 雅章	「戦後の学校儀式と天皇制—サマーセミナー報告補遺」『日本教育史往来』	No. 188	2010年10月	日本教育史研究会
	小野 雅章	「戦後教育改革期の学校儀式と御真影再下付問題」『教育学雑誌』	第46号	2011年3月	日本大学教育学会
	小野 雅章				

※ホームページ等での公開の (可) / (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
本研究の成果をもとに研究計画をたて、平成 22 年度から平成 25 年度科学研究補助金の申請を行った結果、採択された。研究課題は、以下の通りである。			
「近代日本における学校と儀式、国旗・国歌との関係に関する史的研究」基盤研究 (C) 課題番号 22530832			
(他の研究への発展)			
(その他)			

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23年 3月25日

日本大学 総長 殿

氏 名 坂本真士



所属・資格 文理学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	自殺報道のあり方を検討するための実験社会心理学的研究：自殺方法と美化の報道に注目して			
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担） 			
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
坂本真士・田中江里子・ 亀山晶子	日本心理学会第74回大会	自殺を報じた新聞記事に掲載される内容 についての実験心理学的検討(3)	平成22年9月	
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (可) / 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
本研究の成果を踏まえ、平成 22 年度にも自殺報道と個人差特性との関連を検討した研究を実施した。			
(その他)			
論文にまとめる予定で準備中である。			

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
●平成 22～25 (2010～2013) 年度科学研究費補助金 (基盤研究 B), 課題: カンボジア・アンコール遺跡における石材の風化量の定量化とその寿命に関する研究, 課題番号: 22401005			
(他の研究への発展)			
(その他)			
その他の研究成果:			
<u>Waragai, T</u> and M. Hara, 7th International Conference on Geomorphology, Weathering rates of Angkor monuments, Cambodia, 2009 年 7 月			
原 正剛・ <u>藁谷哲也</u> , 日本大学地理学会, アンコール遺跡を構成する砂岩ブロックの風化速度, 2009 年 6 月			

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個 09-015
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 3 月 10 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 岡 田 宏 成



所属・資格 東北学院大学・工学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	超高压低温環境下におけるオキシニクタイト超伝導の圧力効果に関する研究			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
H. Okada et al.	M ² S2009	Effect of high pressure on superconductivity in Co-doped CaFeAsF	Sep. 2009	
岡田宏成ら	日本物理学会 2009 年秋季大会	FeTe _{0.92} の高圧下粉末 X 線回折	2009 年 9 月	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
H. Okada et al.	Phys. Rev. B/Pressure dependence of the superconductor transition temperature of Ca(Fe1-xCox)AsF compounds: A comparison with the effect of pressure on LaFeAsO1-xFx	81	Feb. 2010	American Physical Society

※ホームページ等での公開の () ・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は, 理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
<p>1111 型鉄系超伝導体 $\text{LaFeAsO}_{1-x}\text{F}_x$ と $\text{CaFe}_{1-x}\text{Co}_x\text{AsF}$ の圧力効果を系統的に調べた結果、同じ結晶構造をとる物質群でありながら、両者の超伝導転移の圧力効果が全く異なることが明らかとなった。この相違を起源を明らかにするために、NMR による電子構造研究や高圧下 X 線回折による結晶構造解析など、微視的手法を用いた研究へと発展した。</p>			
(その他)			

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 3 月 31 日

日本大学 総長 殿

氏 名 松 下 祥 子



所属・資格 東京工業大学・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																																								
2 研究課題	界面張力変動現象の解明 ～新規誘導電流発生システムの構築に向けて～																																																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者 (役割分担) 																																																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松下祥子</td> <td>第8回プラズモニクスシンポジウム(招待講演)</td> <td>球状微粒子を基とした自己集積体作製～メタマテリアルへの挑戦</td> <td>2010年5月26日</td> </tr> <tr> <td>松下祥子</td> <td>分子ナノテクノロジー第174委員会第31回研究会(依頼講演)</td> <td>球状微粒子集積による光機能の発現</td> <td>2009年12月8日</td> </tr> <tr> <td>田中秀扶, 吉田芳, 小林圭, 澁谷洋平, 磯部敏宏, 中島章, 松下祥子</td> <td>第20回「非線形と協同現象」研究会</td> <td>クロロベンゼン添加によるニトロベンゼン/水界面自発運動の活性化</td> <td>2011年1月8-9日</td> </tr> <tr> <td>米田翔, 澁谷洋平, 松下祥子</td> <td>第20回「非線形と協同現象」研究会</td> <td>LiI によって誘起されるニトロベンゼン/水界面の自発変動現象</td> <td>2011年1月8-9日</td> </tr> <tr> <td>芝山正人, 澁谷洋平, 松下祥子</td> <td>第20回「非線形と協同現象」研究会</td> <td>界面活性剤の濃度勾配によるしょうのう船の自発運動の指向性変化</td> <td>2011年1月8-9日</td> </tr> <tr> <td>安達健, 小林圭, 澁谷洋平, 磯部敏宏, 中島章, 松下祥子</td> <td>第20回「非線形と協同現象」研究会</td> <td>ニトロベンゼン/水界面の自発運動における KCl, NaCl 添加の影響</td> <td>2011年1月8-9日</td> </tr> <tr> <td>吉田芳, 澁谷洋平, 海野拓郎, 松下祥子</td> <td>第90春季日本化学会年会</td> <td>ニトロベンゼン/クロロベンゼンの組成混合比による油/水界面張力変動の活性化</td> <td>2010年3月25-29日</td> </tr> <tr> <td>橋本麻希, 松下祥子</td> <td>第90春季年会</td> <td>微粒子自己集積体を利用したメタマテリアルの作製</td> <td>2010年3月25-29日</td> </tr> <tr> <td>澁谷洋平, 吉田芳, 海野拓郎, 松下祥子</td> <td>第19回非線形反応と協同現象研究会</td> <td>油/水界面におけるニトロベンゼン/クロロベンゼン混合比による特異的な挙動</td> <td>2010年1月9-10日</td> </tr> <tr> <td>野上哲平, 高野恭平, 河井妙保, 奥村彰規, 池内昌彦, 松下祥子</td> <td>第62回コロイドおよび界面科学討論会、岡山理科大学</td> <td>自己集積を応用した単細胞分析システムの構築</td> <td>2009年9月17-19日</td> </tr> <tr> <td>藪田喬士, 松下祥子</td> <td>第62回コロイドおよび界面科学討論会</td> <td>色素増感型太陽電池への応用を念頭に、コアシェル型微粒子による自己集積型フォトニック結晶のバンド特性</td> <td>2009年9月17-19日</td> </tr> <tr> <td>加藤丈滋, 西山智慧, 松下祥子</td> <td>2009年電気化学秋季大会</td> <td>酸化チタンインバースオパールを導入した色素増感型太陽電池の粒径による特性変化</td> <td>2009年9月10-11日</td> </tr> <tr> <td>松下祥子, 上村啓太, 高木俊秀, 宮崎英樹</td> <td>第34回光学シンポジウム</td> <td>コロイド結晶膜の共鳴的光回折の検証</td> <td>2009年7月2-3日</td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	松下祥子	第8回プラズモニクスシンポジウム(招待講演)	球状微粒子を基とした自己集積体作製～メタマテリアルへの挑戦	2010年5月26日	松下祥子	分子ナノテクノロジー第174委員会第31回研究会(依頼講演)	球状微粒子集積による光機能の発現	2009年12月8日	田中秀扶, 吉田芳, 小林圭, 澁谷洋平, 磯部敏宏, 中島章, 松下祥子	第20回「非線形と協同現象」研究会	クロロベンゼン添加によるニトロベンゼン/水界面自発運動の活性化	2011年1月8-9日	米田翔, 澁谷洋平, 松下祥子	第20回「非線形と協同現象」研究会	LiI によって誘起されるニトロベンゼン/水界面の自発変動現象	2011年1月8-9日	芝山正人, 澁谷洋平, 松下祥子	第20回「非線形と協同現象」研究会	界面活性剤の濃度勾配によるしょうのう船の自発運動の指向性変化	2011年1月8-9日	安達健, 小林圭, 澁谷洋平, 磯部敏宏, 中島章, 松下祥子	第20回「非線形と協同現象」研究会	ニトロベンゼン/水界面の自発運動における KCl, NaCl 添加の影響	2011年1月8-9日	吉田芳, 澁谷洋平, 海野拓郎, 松下祥子	第90春季日本化学会年会	ニトロベンゼン/クロロベンゼンの組成混合比による油/水界面張力変動の活性化	2010年3月25-29日	橋本麻希, 松下祥子	第90春季年会	微粒子自己集積体を利用したメタマテリアルの作製	2010年3月25-29日	澁谷洋平, 吉田芳, 海野拓郎, 松下祥子	第19回非線形反応と協同現象研究会	油/水界面におけるニトロベンゼン/クロロベンゼン混合比による特異的な挙動	2010年1月9-10日	野上哲平, 高野恭平, 河井妙保, 奥村彰規, 池内昌彦, 松下祥子	第62回コロイドおよび界面科学討論会、岡山理科大学	自己集積を応用した単細胞分析システムの構築	2009年9月17-19日	藪田喬士, 松下祥子	第62回コロイドおよび界面科学討論会	色素増感型太陽電池への応用を念頭に、コアシェル型微粒子による自己集積型フォトニック結晶のバンド特性	2009年9月17-19日	加藤丈滋, 西山智慧, 松下祥子	2009年電気化学秋季大会	酸化チタンインバースオパールを導入した色素増感型太陽電池の粒径による特性変化	2009年9月10-11日	松下祥子, 上村啓太, 高木俊秀, 宮崎英樹	第34回光学シンポジウム	コロイド結晶膜の共鳴的光回折の検証	2009年7月2-3日
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																																									
松下祥子	第8回プラズモニクスシンポジウム(招待講演)	球状微粒子を基とした自己集積体作製～メタマテリアルへの挑戦	2010年5月26日																																																									
松下祥子	分子ナノテクノロジー第174委員会第31回研究会(依頼講演)	球状微粒子集積による光機能の発現	2009年12月8日																																																									
田中秀扶, 吉田芳, 小林圭, 澁谷洋平, 磯部敏宏, 中島章, 松下祥子	第20回「非線形と協同現象」研究会	クロロベンゼン添加によるニトロベンゼン/水界面自発運動の活性化	2011年1月8-9日																																																									
米田翔, 澁谷洋平, 松下祥子	第20回「非線形と協同現象」研究会	LiI によって誘起されるニトロベンゼン/水界面の自発変動現象	2011年1月8-9日																																																									
芝山正人, 澁谷洋平, 松下祥子	第20回「非線形と協同現象」研究会	界面活性剤の濃度勾配によるしょうのう船の自発運動の指向性変化	2011年1月8-9日																																																									
安達健, 小林圭, 澁谷洋平, 磯部敏宏, 中島章, 松下祥子	第20回「非線形と協同現象」研究会	ニトロベンゼン/水界面の自発運動における KCl, NaCl 添加の影響	2011年1月8-9日																																																									
吉田芳, 澁谷洋平, 海野拓郎, 松下祥子	第90春季日本化学会年会	ニトロベンゼン/クロロベンゼンの組成混合比による油/水界面張力変動の活性化	2010年3月25-29日																																																									
橋本麻希, 松下祥子	第90春季年会	微粒子自己集積体を利用したメタマテリアルの作製	2010年3月25-29日																																																									
澁谷洋平, 吉田芳, 海野拓郎, 松下祥子	第19回非線形反応と協同現象研究会	油/水界面におけるニトロベンゼン/クロロベンゼン混合比による特異的な挙動	2010年1月9-10日																																																									
野上哲平, 高野恭平, 河井妙保, 奥村彰規, 池内昌彦, 松下祥子	第62回コロイドおよび界面科学討論会、岡山理科大学	自己集積を応用した単細胞分析システムの構築	2009年9月17-19日																																																									
藪田喬士, 松下祥子	第62回コロイドおよび界面科学討論会	色素増感型太陽電池への応用を念頭に、コアシェル型微粒子による自己集積型フォトニック結晶のバンド特性	2009年9月17-19日																																																									
加藤丈滋, 西山智慧, 松下祥子	2009年電気化学秋季大会	酸化チタンインバースオパールを導入した色素増感型太陽電池の粒径による特性変化	2009年9月10-11日																																																									
松下祥子, 上村啓太, 高木俊秀, 宮崎英樹	第34回光学シンポジウム	コロイド結晶膜の共鳴的光回折の検証	2009年7月2-3日																																																									

Y. Shibuya, S. Yoneda, K. Adachi, A. Nakajima, T. Isobe, S. Matsushita	Pacificchem 2010	Spontaneous periodic change of the interface tension at oil/w ater by KCl addition	2010年12月15-20日
T.Asakura, K. Yamanaka, A. Nakajima, T. Isobe, S. Matsushita	Asia NANO 2010	Preparation of Stimuli-Responsive Inverse-opal Gel Composed of Cellular-Size Pores	2010年11月1-3日
A. Hashimoto, A. Nakajima, T. Isobe, S. Matsushita	Korea-Japan Joint Forum	Ring structure prepared by self-assembled particle layers	2010年8月22-25日
Y. Shibuya, T.Unno, K. Kobayashi, A. Nakajima, T. Isobe, S. Matsushita	Korea-Japan Joint Forum	Temperature Dependence of Spontaneous Rotation at Oil/Water Interface	2010年8月22-25日
M. Kawai, K. Takano, A. Nakajima, T. Isobe, S. Matsushita	Korea-Japan Joint Forum	Self-Assembled Monolayers Using Large-Size Polystyrene Particles	2010年8月22-25日
T.Yabuta, A. Nakajima, T. Isobe, S. Matsushita	Korea-Japan Joint Forum	Simulation of the Light Propagation and Photonic Bands of Colloidal Crystals composed of SiO ₂ /TiO ₂ Core/Shell Particles in an Electrolyte	2010年8月22-25日
J. Kato, A. Nakajima, T. Isobe, S. Matsushita	Korea-Japan Joint Forum	Pore-Size dependence of Electrochemical Characteristics of Dye-sensitized Solar Cells composed with TiO ₂ Inverse opals	2010年8月22-25日
C. Nishiyama, G. Kato, S. Mastushita	Fall 2009 American Chemical Society	Comparison of the Electrochemical Impedance of Dye-Sensitized Inverse-Opal Electrodes Prepared by Various Liquid-Phase Methods	2009年8月16-20日
K. Yoshida, Y. Shibuya, S. Matsushita	Fall 2009 American Chemical Society	Spontaneous Interface-tension change at nitrobenzene, chlorobenzene/water interface	2009年8月16-20日
T. Unno, K. Yoshida, S. Matsushita	Fall 2009 American Chemical Society	Spontaneous interface-tension change depended on the liquid-phases temperatures	2009年8月16-20日
R. Watanabe, O. Suavet, H. Hashiba, T. Isoshima, S. Matsushita	Fall 2009 American Chemical Society	Full photonic band gap of TiO ₂ photonic crystals filled with electrolyte in the perspective of dye-sensitized solar cells application	2009年8月16-20日

5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
M. Kawai, K. Takano, A. Nakajima, T. Isobe, S. Matsushita	<i>Mol. Cryst. Liq. Cryst.</i> / Self-Assembled Monolayers Using Large-Size Polystyrene Particles		in press.	Taylor & Francis
A. Hashimoto, A. Nakajima, T. Isobe, S. Matsushita	<i>Mol. Cryst. Liq. Cryst.</i> / Ring Structures prepared by Self-Assembled Particle Layers		in press.	Taylor & Francis
S. Matsushita, O. Suavet, H. Hashiba	<i>Electrochimica Acta</i> / Full Photonic Band Gap of TiO ₂ Photonic Crystals Filled with Electrolyte for Prospective Dye-Sensitized Solar-Cells	55	2010	Elsevier
Y. Shibuya, S. Matsushita	<i>Mol. Cryst. Liq. Cryst.</i> / Electric current generation by camphor boats	504	2009	Taylor & Francis
S. Matsushita, K. Yoshida, T. Sato, Y. Suga	<i>Chem. Lett.</i> / Induced-Current Generated System Using the Chemomechanical Transduction at the Nitrobenzene/Water Interface	38	2009	The Chemical Society of Japan
A. Buffaz, E. Oikawa, T. Hashimoto, S. Matsushita	<i>J. Nanosci. Nanotech.</i> / Calculation of photonic energy bands of TiO ₂ hollow spherical arrays	9	2009	American Scientific Publishers

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
1. 平成 21-23 年度 若手・B 課題番号 2170024「自発的界面張力変動が生じる物質の特定および本現象の解明」初年度 182 万円、22 年度 80 万円、23 年度、100 万円(予定)			
2. 松下祥子, “フルフォトリックバンドギャップを持つフォトリック結晶ビーカーの作製”,平成 22 年度 (第 41 回) 研究助成金 財団法人大倉和親記念財団、1,000,000 円			
(他の研究への発展)			
(その他)			

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 3 月 10 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 菅 原 正 雄



所属・資格 文理学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。										
2 研究課題	脳海馬スライス内で放出されるL-グルタミン酸濃度の評価法													
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担） 													
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>菅原正雄ほか4名</td> <td>日本分析化学会 59 年会</td> <td>海馬スライスの化学刺激に伴い放出される L-グルタミン酸の領野間分布</td> <td>2010 年 9 月 16 日</td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	菅原正雄ほか4名	日本分析化学会 59 年会	海馬スライスの化学刺激に伴い放出される L-グルタミン酸の領野間分布	2010 年 9 月 16 日		
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月											
菅原正雄ほか4名	日本分析化学会 59 年会	海馬スライスの化学刺激に伴い放出される L-グルタミン酸の領野間分布	2010 年 9 月 16 日											
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H. Chiba, Y. Deguchi, E. Kanazawa, J. Kawai, K. Nozawa, A. Shoji, M. Sugawara</td> <td>Anal.Sci./<i>In vitro</i> measurements of extracellular L-glutamate level in region CA3 of mouse hippocampal slices under chemical stimulation</td> <td>26</td> <td>2010</td> <td>Japan Society of Analytical Chemistry</td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	H. Chiba, Y. Deguchi, E. Kanazawa, J. Kawai, K. Nozawa, A. Shoji, M. Sugawara	Anal.Sci./ <i>In vitro</i> measurements of extracellular L-glutamate level in region CA3 of mouse hippocampal slices under chemical stimulation	26	2010	Japan Society of Analytical Chemistry
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所										
H. Chiba, Y. Deguchi, E. Kanazawa, J. Kawai, K. Nozawa, A. Shoji, M. Sugawara	Anal.Sci./ <i>In vitro</i> measurements of extracellular L-glutamate level in region CA3 of mouse hippocampal slices under chemical stimulation	26	2010	Japan Society of Analytical Chemistry										

※ホームページ等での公開の (可) / (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 3 月 10 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 為我井 秀行



所属・資格 文理学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																				
2 研究課題	深海における有用遺伝子の多様性解析																							
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者 (役割分担) 																							
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>為我井 秀行</td> <td>第 5 回いわて海洋バイオテクノロジー研究会公開セミナー (招待講演)</td> <td>深海環境 DNA からの抗生物質生合成遺伝子の探索</td> <td>平成 21 年 11 月</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	為我井 秀行	第 5 回いわて海洋バイオテクノロジー研究会公開セミナー (招待講演)	深海環境 DNA からの抗生物質生合成遺伝子の探索	平成 21 年 11 月												
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																					
為我井 秀行	第 5 回いわて海洋バイオテクノロジー研究会公開セミナー (招待講演)	深海環境 DNA からの抗生物質生合成遺伝子の探索	平成 21 年 11 月																					
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Tamegai, H., Kanda, Y., and Kato, C.</td> <td>雑誌名 Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 論文名 Genes encoding carbocycle-forming enzymes involved in aminoglycoside biosynthesis in deep-sea environmental DNA</td> <td>74 (5)</td> <td>平成 22 年 5 月</td> <td>日本農芸化学会</td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	Tamegai, H., Kanda, Y., and Kato, C.	雑誌名 Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 論文名 Genes encoding carbocycle-forming enzymes involved in aminoglycoside biosynthesis in deep-sea environmental DNA	74 (5)	平成 22 年 5 月	日本農芸化学会										
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																				
Tamegai, H., Kanda, Y., and Kato, C.	雑誌名 Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 論文名 Genes encoding carbocycle-forming enzymes involved in aminoglycoside biosynthesis in deep-sea environmental DNA	74 (5)	平成 22 年 5 月	日本農芸化学会																				

※ホームページ等での公開の 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個 09-020
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 5 月 16 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 平 野 文 彦



所属・資格 経済学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	経営品質に関する基礎的研究ならびに実地調査																																						
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 																																						
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平野文彦</td> <td>実践経営学会北陸支部</td> <td>奥野博著『恩の経営』と実践経営学への示唆</td> <td>2010年6月</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	平野文彦	実践経営学会北陸支部	奥野博著『恩の経営』と実践経営学への示唆	2010年6月																											
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
平野文彦	実践経営学会北陸支部	奥野博著『恩の経営』と実践経営学への示唆	2010年6月																																				
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平野文彦</td> <td>実践経営学会年次報告書／奥野博『恩の経営』の意義と学的体系化の試み</td> <td>No.47</td> <td>2010年8月</td> <td>実践経営学会</td> </tr> <tr> <td>平野文彦</td> <td>商経学叢／実践経営学の課題と方法</td> <td>第56巻/ 第3号</td> <td>2010年3月</td> <td>近畿大学</td> </tr> <tr> <td>平野文彦</td> <td>国際経済労働研究 Int'lecowk／人間の労働を震ませるな - 経営学の世界から『賃金事典』を編んで-</td> <td>第66巻</td> <td>2011年2月</td> <td>国際経済労働研究所</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	平野文彦	実践経営学会年次報告書／奥野博『恩の経営』の意義と学的体系化の試み	No.47	2010年8月	実践経営学会	平野文彦	商経学叢／実践経営学の課題と方法	第56巻/ 第3号	2010年3月	近畿大学	平野文彦	国際経済労働研究 Int'lecowk／人間の労働を震ませるな - 経営学の世界から『賃金事典』を編んで-	第66巻	2011年2月	国際経済労働研究所															
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
平野文彦	実践経営学会年次報告書／奥野博『恩の経営』の意義と学的体系化の試み	No.47	2010年8月	実践経営学会																																			
平野文彦	商経学叢／実践経営学の課題と方法	第56巻/ 第3号	2010年3月	近畿大学																																			
平野文彦	国際経済労働研究 Int'lecowk／人間の労働を震ませるな - 経営学の世界から『賃金事典』を編んで-	第66巻	2011年2月	国際経済労働研究所																																			

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個 09-021
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 30 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 村上 英 吾



所属・資格 経済学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																									
2 研究課題	現代日本の不安定雇用に関する実証的研究																												
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者 (役割分担) 																												
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>村上英吾</td> <td>貧困研究会</td> <td>日本におけるワーキングプアの就労と生活の実像—連合・連合総研調査から見えてきたもの—</td> <td>2010年11月7日</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	村上英吾	貧困研究会	日本におけるワーキングプアの就労と生活の実像—連合・連合総研調査から見えてきたもの—	2010年11月7日																	
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																										
村上英吾	貧困研究会	日本におけるワーキングプアの就労と生活の実像—連合・連合総研調査から見えてきたもの—	2010年11月7日																										
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>働く貧困層(ワーキングプア)に関する調査研究委員会</td> <td>ワーキングプアに関する連合・連合総研共同調査研究報告書Ⅰ—ケースレポート編— ～困難な時代を生きる 120 人の仕事と生活の経歴～</td> <td> </td> <td>2010年6月</td> <td>連合総合生活開発研究所</td> </tr> <tr> <td>村上英吾</td> <td>2008 年秋以降の調査対象者の失業経験 『ワーキングプアに関する連合・連合総研共同調査研究報告書Ⅰ—分析編—』所収</td> <td> </td> <td>掲載確定</td> <td>連合総合生活開発研究所</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	働く貧困層(ワーキングプア)に関する調査研究委員会	ワーキングプアに関する連合・連合総研共同調査研究報告書Ⅰ—ケースレポート編— ～困難な時代を生きる 120 人の仕事と生活の経歴～		2010年6月	連合総合生活開発研究所	村上英吾	2008 年秋以降の調査対象者の失業経験 『ワーキングプアに関する連合・連合総研共同調査研究報告書Ⅰ—分析編—』所収		掲載確定	連合総合生活開発研究所										
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																									
働く貧困層(ワーキングプア)に関する調査研究委員会	ワーキングプアに関する連合・連合総研共同調査研究報告書Ⅰ—ケースレポート編— ～困難な時代を生きる 120 人の仕事と生活の経歴～		2010年6月	連合総合生活開発研究所																									
村上英吾	2008 年秋以降の調査対象者の失業経験 『ワーキングプアに関する連合・連合総研共同調査研究報告書Ⅰ—分析編—』所収		掲載確定	連合総合生活開発研究所																									

※ホームページ等での公開の 可 / 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個09-022
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 28 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 藤井盛夫



所属・資格 経済学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	ピエロ・スラッファ『商品による商品の生産』ビフォー・アフター																																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)																																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																									
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藤井盛夫</td> <td>経済集志(以下同じ)/ピエロ・スラッファ『商品による商品の生産』ビフォー・アフター</td> <td>79巻3号</td> <td>2009年10月</td> <td>日本大学経済学部</td> </tr> <tr> <td>藤井盛夫</td> <td>スラッファ vs. パンタレオーニ——スラッファはパンタレオーニをどのように読んだのか</td> <td>79巻4号</td> <td>2010年1月</td> <td>日本大学経済学部</td> </tr> <tr> <td>藤井盛夫</td> <td>スラッファ vs. パレート——スラッファはパレートをどのように読んだのか</td> <td>80巻1号</td> <td>2010年4月</td> <td>日本大学経済学部</td> </tr> <tr> <td>藤井盛夫</td> <td>スラッファ vs. バローネ——スラッファはバローネをどのように読んだのか</td> <td>80巻2号</td> <td>2010年7月</td> <td>日本大学経済学部</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	藤井盛夫	経済集志(以下同じ)/ピエロ・スラッファ『商品による商品の生産』ビフォー・アフター	79巻3号	2009年10月	日本大学経済学部	藤井盛夫	スラッファ vs. パンタレオーニ——スラッファはパンタレオーニをどのように読んだのか	79巻4号	2010年1月	日本大学経済学部	藤井盛夫	スラッファ vs. パレート——スラッファはパレートをどのように読んだのか	80巻1号	2010年4月	日本大学経済学部	藤井盛夫	スラッファ vs. バローネ——スラッファはバローネをどのように読んだのか	80巻2号	2010年7月	日本大学経済学部															
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																								
藤井盛夫	経済集志(以下同じ)/ピエロ・スラッファ『商品による商品の生産』ビフォー・アフター	79巻3号	2009年10月	日本大学経済学部																																								
藤井盛夫	スラッファ vs. パンタレオーニ——スラッファはパンタレオーニをどのように読んだのか	79巻4号	2010年1月	日本大学経済学部																																								
藤井盛夫	スラッファ vs. パレート——スラッファはパレートをどのように読んだのか	80巻1号	2010年4月	日本大学経済学部																																								
藤井盛夫	スラッファ vs. バローネ——スラッファはバローネをどのように読んだのか	80巻2号	2010年7月	日本大学経済学部																																								

※ホームページ等での公開の (可) / (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個 09-023
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 28 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 _____ 高月誠治 (鄭 亨奎)



所属・資格 _____ 経済学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。			
2	研究課題 中国語の外来新語の研究				
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）				
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
	発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
	鄭 亨奎	世界汉语修辞学会第二届年会暨修辞学国际学术研讨会	外来词的修辞功能汉日比较	2010年7月27日	
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
	鄭 亨奎	漢字圏における外来語の諸相/延边大学学报	42	2009年12月	延边大学
	鄭 亨奎	汉语外来新词的生成及其修辞功能/日本大学経済学部研究紀要	67	2011年7月(予定)	日本大学経済学部

※ ホームページ等での公開の (可) (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個 09-024
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 30 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 松 岡 勝 男



所属・資格 経済学部 ・ 教授

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	○一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	Herz-Orlicz 空間とある sublinear operator の有界性について																																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究代表者 ・ 研究分担者 (役割分担) 																																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">発表者名</th> <th style="width: 25%;">学会名</th> <th style="width: 40%;">発表テーマ</th> <th style="width: 10%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松岡勝男 (中井英一教授 (大阪教育大) と連名)</td> <td>京都大学数理解析研究所 「バナッハ空間論の研究とその周辺」研究集会</td> <td>Singular integral operators and $B^{\lambda, p}$ with Morrey-Campanato norms</td> <td>2011年2月15日</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	松岡勝男 (中井英一教授 (大阪教育大) と連名)	京都大学数理解析研究所 「バナッハ空間論の研究とその周辺」研究集会	Singular integral operators and $B^{\lambda, p}$ with Morrey-Campanato norms	2011年2月15日																																
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																									
松岡勝男 (中井英一教授 (大阪教育大) と連名)	京都大学数理解析研究所 「バナッハ空間論の研究とその周辺」研究集会	Singular integral operators and $B^{\lambda, p}$ with Morrey-Campanato norms	2011年2月15日																																									
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 30%;">著書名・雑誌名／論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 25%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																								

※ホームページ等での公開の (○可・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は, 理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個 09-025
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 28 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 塚本 隆夫



所属・資格 経済学部 教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	アメリカ制度派経済学の方法論的解明 — 特に「累積的因果関係の理論」をめぐって —																																						
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）																																						
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																															
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塚本隆夫</td> <td>「書評 K. ボラニー『新訳 大転換』『経済集志』</td> <td>81/1</td> <td>2011年4月</td> <td>日本大学経済学部</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	塚本隆夫	「書評 K. ボラニー『新訳 大転換』『経済集志』	81/1	2011年4月	日本大学経済学部																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
塚本隆夫	「書評 K. ボラニー『新訳 大転換』『経済集志』	81/1	2011年4月	日本大学経済学部																																			

※ホームページ等での公開の (可)・ (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個 09-026
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 30 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 池 本 修 一



所属・資格 経済学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 多様な資本主義：中東欧諸国の比較	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
	巻・号	年月
	出版社・発行所	
	池本 修一	経済科学研究所 Working paper Series／チェコにおける日系企業投資：自動車産業を中心に
	10 卷 4 号	2011 年 3 月
		日本大学経済学部

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個 09-027
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 2 1 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 2 3 年 3 月 1 6 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 黒 沢 義 孝
 所属・資格 経済学部・教授



下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	アセアン地域における信用格付けの機能強化についての研究	
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）	
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）		
発表者名	学会名	発表テーマ
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）		
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号
年月	出版社・発行所	
黒沢 義孝	アジア債券市整備と域内金融協力/アジアの信用格付け制度	2011年2月

※ ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
『アジア 11 カ国の資本市場と格付け』(Capital Markets and Credit Ratings in Asia) (英文) を 2011 年度中に出版する予定です。			
(その他)			

課題番号	個 09-028
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 28 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 井尻 直彦



所属・資格 経済学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	東アジアの生産ネットワークと貿易構造の変化																																											
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担） 																																											
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>井尻直彦</td> <td>Korea Trade Research Association</td> <td>Airfreight and International Trade: Evidence from Japanese Export</td> <td>2010年12月17日</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	井尻直彦	Korea Trade Research Association	Airfreight and International Trade: Evidence from Japanese Export	2010年12月17日																																
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																									
井尻直彦	Korea Trade Research Association	Airfreight and International Trade: Evidence from Japanese Export	2010年12月17日																																									
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																								

※ホームページ等での公開の 可 / 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個 09—029
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 3 月 16 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 沼尾 波子



所属・資格 経済学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	基礎自治体における対人サービス供給のための社会的基盤構築に関する研究																																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 																																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																									
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沼尾 波子</td> <td>生活経済政策/「これからの地域に必要な公共事業」</td> <td>159 号</td> <td>2010年4月</td> <td>生活経済政策研究所</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	沼尾 波子	生活経済政策/「これからの地域に必要な公共事業」	159 号	2010年4月	生活経済政策研究所																														
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																								
沼尾 波子	生活経済政策/「これからの地域に必要な公共事業」	159 号	2010年4月	生活経済政策研究所																																								

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
<p>広島県安芸高田市での調査結果を踏まえて、前市長児玉更太郎氏に対するインタビューを行い、オラルヒストリーを通じたコミュニティ構築と政府の役割に関する調査を 2010 年度に実施した。その成果は、2011 年 4 月に財団法人地方自治総合研究所から刊行される予定である。</p>			
(その他)			

課題番号	個 09-030
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 2 1 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 2 3 年 7 月 2 5 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 森 博英



所属・資格 経済学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注:該当する種目を○で囲んでください。																																
2 研究課題	早期英語教育における言語習得の特徴																																			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)																																			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																												
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森 博英</td> <td>研究紀要/Affective Profiles of Junior-High-School Students with Early English-Language-Learning Experience and Predictors for Their English Proficiency</td> <td>6 7 号</td> <td>平成 23 年 7 月</td> <td>日本大学経済学部</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	森 博英	研究紀要/Affective Profiles of Junior-High-School Students with Early English-Language-Learning Experience and Predictors for Their English Proficiency	6 7 号	平成 23 年 7 月	日本大学経済学部																						
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																
森 博英	研究紀要/Affective Profiles of Junior-High-School Students with Early English-Language-Learning Experience and Predictors for Their English Proficiency	6 7 号	平成 23 年 7 月	日本大学経済学部																																

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は, 理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個09-031
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23年3月20日

日本大学 総長 殿

氏 名 新田 義彦



所属・資格 経済学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="checkbox"/> 一 班研究(個人研究) / <input type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	意味表現と機械翻訳の関係についての研究			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
新田義彦	福岡大学機械翻訳シ ンポジウム	機械翻訳研究の課題と新方式の展望	2009年10月31日	
新田義彦	The 15th LACE2010 「言語・認識・表現」学 会第15回年次研究シ ンポジウム	不完全な機械翻訳の効用と利用法	2010年10月4日	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
新田義彦	経済集志/ 不完全な機械翻訳の利用法と課題	Vol. 80 No. 4	2011年1 月	日本大学経済学部
新田義彦	経済学部紀要 pp. 17-51/ 部分翻訳により言語教育を支援する方法	第66号	2011年1 月	日本大学経済学部
新田義彦	産業経営研究/ サイバースペースにおける自我と新産業	第33号	2011年3 月	日本大学経済学部

※ホームページ等での公開の (同・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

課題番号	個 09-032
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 3 月 28 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 _____ 小 卷 泰 之



所属・資格 _____ 経 済 学 部 ・ 教 授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 欧州地域の景気変動－環境政策と経済政策のトレードオフ	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
	小 卷 泰 之	the European Economics and Finance Society (EEFS) 2010 Conference
	Monetary policy evaluation using the Narrative approach with Real Time data - ECB and BOE	2010 年 6 月 3 日
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
	巻・号	年月
	出版社・発行所	

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			


課題番号	個 09-033
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 30 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 清水 純 

所属・資格 経済学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	台湾原住民に関する映像記録の鑑定と考察			
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）			
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
山本芳美・原英子・清水純	『台湾原住民研究』 馬淵東一アーカイブの台湾写真を整理して	14号	2010年11月	風響社

※ホームページ等での公開の（○可） いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個 09-034
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 2 1 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 2 3 年 4 月 2 6 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 小 林 信 治



所属・資格 経済学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目	<input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題	契約と情報	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）		
	発表者名	学会名	発表テーマ
	Shinji Kobayashi	International Symposium on Logistics	Licensing and innovation in Differentiated Markets
			July 2010
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）		
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号
			年月
			出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			


課題番号	個09-035
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23年 11月 17日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 根本 忠明 

所属・資格 商学部 教授

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input type="radio"/> 一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	グローバル時代に問われる生産技術概念のパラダイムシフト			
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者（役割分担） 			
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
根本忠明	経営情報学会	ソニーとアップルの明暗を分けた物作り戦略	2011年10月30日	
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量

7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)

(知的財産権の取得)

(外部資金の獲得)

(他の研究への発展)

(その他)

課題番号	個 09-036
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23年4月16日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 小阪 隆秀



所属・資格 商学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1	種目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。			
2	研究課題 ポスト官僚制組織の現象と理論についての研究				
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）				
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
	発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
	経営学史学会編 小阪隆秀	『経営学の展開と組織概念』（経営学史学会年報） ヴェーバー官僚制論再考ーポスト官僚制組織 概念と組織人の自由	第17輯	2010年5月	（株）文眞堂

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個09-037
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23年 4月 9日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 児玉 充



所属・資格 商学部 教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	技術変革の戦略的イノベーションに関する研究																																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)																																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																									
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児玉 充</td> <td>バウンダリーチーム・イノベーション 境界を超えた知識創造の実践</td> <td> </td> <td>2010年3月</td> <td>翔泳社</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	児玉 充	バウンダリーチーム・イノベーション 境界を超えた知識創造の実践		2010年3月	翔泳社																														
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																								
児玉 充	バウンダリーチーム・イノベーション 境界を超えた知識創造の実践		2010年3月	翔泳社																																								

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個09-038
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23 年4月 15 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 高井 透



所属・資格 商学部 教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																
2 研究課題	コモディティマーケットからの脱却方法に関する実証研究																																			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 																																			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																												
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神田良・高井透</td> <td>『老舗企業の生きる知恵』 ～ 時代を超える強さの源泉 ～ 第2章 老舗企業の強さを読み解く 1. 老舗企業の強さの源泉</td> <td> </td> <td>平成22年 3月</td> <td>東京商工会議所 中央支部</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	神田良・高井透	『老舗企業の生きる知恵』 ～ 時代を超える強さの源泉 ～ 第2章 老舗企業の強さを読み解く 1. 老舗企業の強さの源泉		平成22年 3月	東京商工会議所 中央支部																						
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																
神田良・高井透	『老舗企業の生きる知恵』 ～ 時代を超える強さの源泉 ～ 第2章 老舗企業の強さを読み解く 1. 老舗企業の強さの源泉		平成22年 3月	東京商工会議所 中央支部																																

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個09-039
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 15 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 村井 秀樹



所属・資格 商学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																												
2 研究課題	国内排出量取引の制度設計における会計・税務問題																															
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者 (役割分担) 																															
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>村井 秀樹</td> <td>ディスクロージャー研究会 第11回研究大会</td> <td>「炭素制約社会におけるカーボン・ディスクロージャーの課題と展望」</td> <td>2009年11月22日 於：兵庫県立大学</td> </tr> <tr> <td>村井 秀樹</td> <td>環境経営学会 創立10周年記念研究報告大会</td> <td>「財としての排出権の管理と会計処理」</td> <td>2010年5月30日 於：東京大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	村井 秀樹	ディスクロージャー研究会 第11回研究大会	「炭素制約社会におけるカーボン・ディスクロージャーの課題と展望」	2009年11月22日 於：兵庫県立大学	村井 秀樹	環境経営学会 創立10周年記念研究報告大会	「財としての排出権の管理と会計処理」	2010年5月30日 於：東京大学																
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																													
村井 秀樹	ディスクロージャー研究会 第11回研究大会	「炭素制約社会におけるカーボン・ディスクロージャーの課題と展望」	2009年11月22日 於：兵庫県立大学																													
村井 秀樹	環境経営学会 創立10周年記念研究報告大会	「財としての排出権の管理と会計処理」	2010年5月30日 於：東京大学																													
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河野正男、上田俊昭、八木裕之、村井秀樹、阪智香編著</td> <td>『環境財務会計の国際的動向と展開』、(分担執筆箇所:第6章「排出量取引の会計」第1節、第3節—1、3、第5節、第6節)</td> <td></td> <td>2009年11月</td> <td>(有)森山書店</td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	河野正男、上田俊昭、八木裕之、村井秀樹、阪智香編著	『環境財務会計の国際的動向と展開』、(分担執筆箇所:第6章「排出量取引の会計」第1節、第3節—1、3、第5節、第6節)		2009年11月	(有)森山書店																		
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																												
河野正男、上田俊昭、八木裕之、村井秀樹、阪智香編著	『環境財務会計の国際的動向と展開』、(分担執筆箇所:第6章「排出量取引の会計」第1節、第3節—1、3、第5節、第6節)		2009年11月	(有)森山書店																												

※ホームページ等での公開の 是 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	09-040
------	--------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 3 月 29 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 所 伸之



所属・資格 商学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 自動車、電機産業のグローバル戦略に組み込まれた環境経営についての定性的分析	
3	研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します) ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)	
4	学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
	所 伸之	環境経営学会
	プロダクト・イノベーションからソーシャル・イノベーションへのロードマップ	2010. 5. 28
5	著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名
	巻・号	年月
	出版社・発行所	

※ホームページ等での公開の (○可・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

【別紙様式 8】

課題番号	個09-041
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23年 3月 30日

日本大学 総長 殿

氏名 安田武彦



所属・資格 商学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input type="radio"/> 一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	サービス産業におけるイノベーション政策の国際比較研究			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
安田武彦	日本消費経済学会	デザイン・イノベーションと創造的な場の形成に関する考察	2010年6月27日	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の(可)否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個09-042
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成24年 1月25日

日本大学 総長 殿

氏 名 松原 聖



所属・資格 商学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	製品差別化の下での海外直接投資 (FDI) のスピルオーバーに関する研究																																						
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 																																						
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松原 聖</td> <td>日伊ワークショップ「国際貿易と公共政策のフロンティア」(名古屋大学)</td> <td>Product Quality in Different Markets and Cost Structure</td> <td>2010年3月</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	松原 聖	日伊ワークショップ「国際貿易と公共政策のフロンティア」(名古屋大学)	Product Quality in Different Markets and Cost Structure	2010年3月																											
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
松原 聖	日伊ワークショップ「国際貿易と公共政策のフロンティア」(名古屋大学)	Product Quality in Different Markets and Cost Structure	2010年3月																																				
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																														
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
財団法人 学術振興野村基金 2010年度上半期海外派遣助成 「企業の製品の品質と価格の決定及び海外進出戦略に関する研究」 300,000円			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個09-043
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 20 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 井上葉子



所属・資格 商学部 専任講師

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																
2 研究課題	自動車市場におけるインドと中国の比較研究 ——導入パターンを中心に																																			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 																																			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																												
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樋山健介・川邊信雄 編 井上 葉子</td> <td>『中国・広東省の自動車産業：日系大手3社の進出した自動車産業集積地』/第3章 第1節 广汽集団、第4章 第4節 デンソー(広州南沙)、第5章 第4節 広州競馬場自動車城、第6章 第2節 日郵物流広州と日本郵船の中国事業</td> <td>産研シリーズ 第45号</td> <td>2011年1月</td> <td>早稲田大学産業経営研究所</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	樋山健介・川邊信雄 編 井上 葉子	『中国・広東省の自動車産業：日系大手3社の進出した自動車産業集積地』/第3章 第1節 广汽集団、第4章 第4節 デンソー(広州南沙)、第5章 第4節 広州競馬場自動車城、第6章 第2節 日郵物流広州と日本郵船の中国事業	産研シリーズ 第45号	2011年1月	早稲田大学産業経営研究所																						
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																
樋山健介・川邊信雄 編 井上 葉子	『中国・広東省の自動車産業：日系大手3社の進出した自動車産業集積地』/第3章 第1節 广汽集団、第4章 第4節 デンソー(広州南沙)、第5章 第4節 広州競馬場自動車城、第6章 第2節 日郵物流広州と日本郵船の中国事業	産研シリーズ 第45号	2011年1月	早稲田大学産業経営研究所																																

※ホームページ等での公開の () 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個09-044
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 15日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 牧野 理英



所属・資格 商学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																
2 研究課題	ブラジル、アリアンサ移住区でユバ農場を創設した日系一世、イサム・ユバに関する研究																																			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者： ・研究分担者 (役割分担)																																			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																												
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松本 昇/西垣内 磨 留美/山本 伸 編 牧野理英</td> <td>『バード・イメージー鳥のアメリカ文学』 「飛翔するブラジル『熱帯雨林の彼方へ』 におけるブラジル中産階級への希求とその ナショナリズム」</td> <td> </td> <td>2010 / 4 / 30</td> <td>株式会社金星堂</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	松本 昇/西垣内 磨 留美/山本 伸 編 牧野理英	『バード・イメージー鳥のアメリカ文学』 「飛翔するブラジル『熱帯雨林の彼方へ』 におけるブラジル中産階級への希求とその ナショナリズム」		2010 / 4 / 30	株式会社金星堂																						
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																
松本 昇/西垣内 磨 留美/山本 伸 編 牧野理英	『バード・イメージー鳥のアメリカ文学』 「飛翔するブラジル『熱帯雨林の彼方へ』 におけるブラジル中産階級への希求とその ナショナリズム」		2010 / 4 / 30	株式会社金星堂																																

※ホームページ等での公開の 可・ 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個09-045
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 16 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 折井善果



所属・資格 商学部・(専任講師)

下記のとおり提出いたします。

1	種目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 16世紀イエズス会の説教に関する基礎的研究—L・グラナダ『説教修辞学』の分析から	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
	折井善果	仙台白百合女子大学カリック研究所第1回研究会「近代日本におけるキリスト教と日本文化の出会い」
	キリシタン思想史の基本主題：徳をめぐる仏・基両教の教義的交差について	2009年6月1日
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
	巻・号	年月
	出版社・発行所	
	坂東省次・川成洋 編 折井善果	『日本・スペイン交流史』 第1部「近代初期の交流史」 第7章「ルイス・デ・グラナダとキリシタン文学」
	119-134 頁	2010年12 月
		憐れんが書房新社

※ホームページ等での公開の 可・ 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	個09-046
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 3 月 9 日
 日本大学 総長 殿
 氏 名 清水 正
 所属・資格 日本大学芸術学部 教授



下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	ドストエフスキー文学の再検証記 - 『罪と罰』の精神と革命について -																																						
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)																																						
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																															
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清水 正</td> <td>ドストエフスキー論全集 (5) 『罪と罰』論余話</td> <td> </td> <td>2010年4月</td> <td>日文学研究会</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	清水 正	ドストエフスキー論全集 (5) 『罪と罰』論余話		2010年4月	日文学研究会																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
清水 正	ドストエフスキー論全集 (5) 『罪と罰』論余話		2010年4月	日文学研究会																																			

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量

7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)

(知的財産権の取得)

(外部資金の獲得)

(他の研究への発展)

(その他)

課題番号	個 09-047
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 3 月 28 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 山下聖美



所属・資格 芸術学部 専任講師

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																														
2 研究課題	日本近現代文学における女性作家の特色とその文学史的位置付けについて																																	
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)																																	
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																										
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																															
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山下聖美</td> <td>『芸術学部紀要』/「宮沢賢治と尾崎翠 二人の作家の共通点を探る」</td> <td>51号</td> <td>平成22年3月</td> <td>日本大学芸術学部</td> </tr> <tr> <td>山下聖美</td> <td>『江古田文学』/「尾崎翠と林芙美子 今甦る、二人のキャラクターと感性」</td> <td>71号</td> <td>平成21年7月</td> <td>日本大学芸術学部</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	山下聖美	『芸術学部紀要』/「宮沢賢治と尾崎翠 二人の作家の共通点を探る」	51号	平成22年3月	日本大学芸術学部	山下聖美	『江古田文学』/「尾崎翠と林芙美子 今甦る、二人のキャラクターと感性」	71号	平成21年7月	日本大学芸術学部															
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																														
山下聖美	『芸術学部紀要』/「宮沢賢治と尾崎翠 二人の作家の共通点を探る」	51号	平成22年3月	日本大学芸術学部																														
山下聖美	『江古田文学』/「尾崎翠と林芙美子 今甦る、二人のキャラクターと感性」	71号	平成21年7月	日本大学芸術学部																														

※ホームページ等での公開の(◎・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			


課題番号	個09-048
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23年 3月 2日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 藤 崎 周 平 
 所属・資格 芸術学部 教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	現代演劇における演技方法論の研究																																									
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究代表者 ・ 研究分担者 (役割分担) 																																									
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">発表者名</th> <th style="width: 25%;">学会名</th> <th style="width: 25%;">発表テーマ</th> <th style="width: 25%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																							
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 40%;">著書名・雑誌名／論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 15%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藤 崎 周 平</td> <td>Journal of Acting Studies</td> <td> </td> <td>2009. 12. 31</td> <td>KOSAS</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>「俳優と役の関係の考察」日本演劇史をたどって</td> <td> </td> <td> </td> <td>(Korea Society of Acting Studies)</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	藤 崎 周 平	Journal of Acting Studies		2009. 12. 31	KOSAS		「俳優と役の関係の考察」日本演劇史をたどって			(Korea Society of Acting Studies)																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																						
藤 崎 周 平	Journal of Acting Studies		2009. 12. 31	KOSAS																																						
	「俳優と役の関係の考察」日本演劇史をたどって			(Korea Society of Acting Studies)																																						

※ホームページ等での公開の 可 / 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
<p>本研究は、現代演劇にかかわっている演劇人を中心に、俳優育成に関する方法論をリサーチし、それを高等教育における俳優の育成に活かそうという試みであった。現代演劇と古典に携わる俳優や人形遣いらに、取材を行い、その方法を明らかにした。今回の論文発表は、現代とわが国の演劇史を鑑みて、その特徴を論じたものである。今後は、現代におけるスタンダード作りを意識し、具体的な論考を行いたい。</p>			
(その他)			
<p>現代における方法論の考察が未熟な部分もあるので、23年度中にその成果を学部紀要で発表したい。</p>			

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23年3月31日

日本大学 総長 殿

氏 名 _____ 熊谷 保宏 印

所属・資格 _____ 芸術学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input type="radio"/> 一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。	
2 研究課題	劇場におけるエデュケーション・プログラムの調査・開発研究				
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担） 				
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
	Yasuhiro Kumagai	NYU Forum on Citizenship and Applied Theatre	Theatre As Forum	2010年4月	
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
	熊谷保宏	SPT educational/ワークショップという名の小さなシアター	4	2010年3月	世田谷パブリックシアター

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			